

# みんなの ライフスキルタイムズ

ときどき発行 No.17 (2022.6.24)  
特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム  
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-21-1-3F  
TEL 050-1742-4922 MAIL info@jiyd.org  
<https://lionsquest-japan.org/>

## 主なワークショップ実施内容

1 日目：基本編

- ▶お互いを知る活動
- ▶良い集団をつくるためのルールづくり
- ▶子どもに身につけたい力について考えよう
- ▶ライオンズクエストのつくりを知ろう

2 日目：実践編

- ▶模擬授業「目標設定（自校の課題解決に向けて）」
- ▶ライフスキルグランドデザインの作成
- ▶ライフスキル年間計画の作成

## ワークショップ実施、 その後の学校は！？

2021年夏に「基本編+実践編」ワークショップを実施した中学校。どんなワークショップだったか、その後の学校の変化などを、ワークショップを担当した認定講師・寺西勉先生にご協力いただき、学校の先生の資料をもとにご紹介します。

学校のニーズにあわせて内容を組み立てたワークショップ。その体験が、先生方や学校の変化につながっていると思います。

## ワークショップの感想

- 普段あまり職員室で話さない人がランダムにグループをやることにより強制的に交流する機会があり、その中で普段聞くことのないその人の考え方や思いに触れることができ、一気に仲良くなった。参加者からは「やっぱり話すことが大切ですね」という声が上がってきた。
- 本校の抱えている課題解決に向けてのワークだった。「みんなできっちり考える！」が最大の課題である。普段から思っていることをある程度言えるくらい仲良くなっていたので、割合グループワークもスムーズに行うことができた。



## 学級経営での成果

<教師の子どもたちが行う活動への立ち位置に変化>

- 特に総合的な学習の持ち方において参考になる部分が多かった。
- ティーチャーとしてだけでなく、子どもたちに動機づけで火をつけるファシリテーターとして立ち位置を意識するようになった。
- 「会議を進める、まとめる、プレゼンテーションを行う、そのためのスライドをまとめる」に関わって、インストラクターとしての立ち位置で子どもたちを牽引するようになってきた。

## 学校として変化を感じたこと

- 職員会議の持ち方や提案の仕方等の改善で働き方改革につながった。
- 「チームで考え、実践する」という風土が醸成されてきた。そのため、各分掌の活動や会議の中身が変わってきた。また、子どもたちの活動へも主体的にチームワークを大切にするように指導する場面が増えてきた（特に生徒会活動）。
- 取り組みに対して、「いつまでに」「どのような状態になり」「そのための手立てとして何をどのようにすれば良いのか」というカリキュラムマネジメント的な思考が広まり、グランドデザインの本質へ近づくことができた。

6月下旬現在、7・8月には全国で約60回のワークショップが計画されています。ライフスキルで暑い夏がやってきます！

